

令和2年度 園の自己評価

第三者評価項目で、評価して、文章化してみよう

職員で、65項目の中の、保育内容の部分の9項目の評価を文章化を試みました。

健康管理にあたっては7項目もあり、ただチェックするのではなく、着眼点に沿って文章で回答するのは、慣れない作業で、時間もかかりました。しかし、ここに「記録している」「～をおこなっているから」など、書き記すことで、個々の保育の力の向上につながったのではと思います。

今回の経験を活かして、これから自分たちの保育を声に出して説明できるようになればと思います。

				無回答	第三者機関
A⑥	A-1-(2)-⑤	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容	a 16 b 12 c 0 5 ①28 ②23 ③20 ④25		a
<p>第三者機関からは、保育室の設計、環境の整え方、保護者と登降園時会話ができるような職員のシフト体制を評価されました。これからもっと、育児担当制の保育が進み、今年度行った「ミモザふえす」のような乳児家族対象の行事が開催され、0歳保育の充実、入所数の安定化ができればと思います。</p>					
A⑦	A-1-(2)-⑥	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a 13 b 15 c 0 5 ①24 ②23 ③25 ④19		a
<p>第三者機関からは、1歳児を2クラスで、細かく月齢を分けて保育していること、乳児園庭、おぼなし会の2歳児の参加について、評価を頂きました。連絡帳の記入、保護者の相談対応など、みなさんからも努力していることがわかりました。個々のスキルを上げ、保育士の個性を尊重しつつもどの子にも、同じサービスが提供できるようにしたいですね。</p>					
A⑧	A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a 15 b 12 c 0 6 ①25 ②21 ③23 ④20		a
<p>第三者機関からは、3歳児の15対1の保育、人間関係を育組む保育計画、保育実践、ページェントを職員全員のバックアップの下、長く実践していることを評価していただきました。ドキュメンテーションを使った保育の見える化が、家庭や、地域、小学校接続などにも活かしていきたいと思います。</p>					
A-1-(3) 健康管理					
A⑫	A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	a 10 b 19 c 1 3 ①28 ②27 ③17 ④26 ⑤22 ⑥14 ⑦19		a
<p>改めて、「健康」について確認すると、私たちのとっては「これでいいのだろうか」と思う方もいて、自己評価が下がっていますが、マニュアルの整備(個々に見直してください)、職員の連絡帳の記入、共有の仕方を評価していただきました。0歳児の入所の安定のためにも、SIDSの意識を高めたり、感染症への対応を皆で学んでいきましょう。</p>					
A-1-(4) 食事					
A⑮	A-1-(4)-①	食事が楽しむことができるよう工夫している。	a 18 b 12 c 1 2 ①30 ②30 ③30 ④26 ⑤25 ⑥23		b
<p>食の楽しみを広げる環境には評価をいただきましたが、食べたいもの、食べられるものが多くなるような援助は十分でないという結果でした。これは、私たちの方が評価が高かったように思います。無理強いはいけませんが、もう少し意識の持ち方を変え、保育士の気持ちを合わせる必要があるのではと思います。</p>					
A⑯	A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a 19 b 11 c 1 2 ①30 ②30 ③26 ④24 ⑤17		a
<p>給食日誌に「子供たちの声」も記入していること、給食アンケートを継続していることが評価されました。職員の中では、給食会議での聴き取り、確認などが、しっかり献立や調理方法(切り方)などに反映されていると実感することがわかりました。炭での調理、伝統食の取り入れもその意義を共有されつつあると思います。</p>					
A-2 子育て支援					
A-2-(1) 家庭との緊密な連携					
A⑰	A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携	a 19 b 12 c 0 2		

		を行っている。	①29 ②24 ③22 ④21	a
連絡ノートの取り組み、園だよりのカラーで写真を入れての作成、クラスだよりの発行は、第三者機関、職員も評価されています。懇談会や、保護者役員会の充実は、これからまだ改善できると思います。職員間、園長への報告も職員でさらに漏れがないよう個々に振り返ってほしいです。				
A-2-(2) 保護者等の支援				
A⑱	A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a 12 b 16 c 2 3 ①26 ②26 ③25 ④22 ⑤13 ⑥14	a
虐待等権利障害への学びが、発生辞令も少ないため、不十分なのでほど、コメントをいただいています。実践経験も少ないため、この件に関する記入も少ないです、職員会、園内研修で、共有部分を増やしていきたいと思えます。スキミングの中での、子どもや家庭への気づきを増やしていきましょう。				
A-3 保育の質の向上				
A-3(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)				
A-⑳	A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a 1 b 30 c 0 2 ①26 ②21 ③13 ④11	a
日誌の「自己評価」の欄、「次週へのつながり」の記入が評価されました。ドキュメンテーションでの報告会も、自己評価に大きくつながる取り組み、とも評価をいただきました。ただ作ったことで満足せず、これをもとに保育を振り返り、それを周りの人に伝えることで確かな「保育の力」に変えていきましょう。				

合わせて、「今年がんばったこと」を職員全員書き表しました。一人一人の思い、1年の様子が浮かび上がりました。コロナ禍での保育・・・感謝の言葉しかありません。また、「来年度は、こんな…！」の所では、ほとんどの方が、まわりと、仲間との話し合いの時間を大切にしたいと書いてありました。勤務時間、シフトも様々で、保育中での話し合いは本当に不十分だと思います。「どうやって時間を作り出すか」は、私にとっても早急な課題として、工夫を考えていきたいと思えます。話し合いの時は、相手の気持ちに寄り添うことができれば、話す時間は充実した時間になると思えます。「聴く」姿勢、そして、「自分の思いの伝え方」工夫するのも課題とし、利用者の方にも、保育学園を利用する人にも、良い環境を生み出していきたいと思えます。仲間からのメッセージに勇気づけられ、認めてもらったり、応援してもらっていることを、胸に刻見ました。来年度も、「なりたい保育士(職員)に向かって」神様もそばで、働いていきたいと思えます。